

技術系職種(高卒程度)採用試験 農学職専門試験問題

【例題1】以下の文中の（ア）から（エ）に当てはまる語句としてふさわしいものを各設問内に示す□の中から選び、数字を記入しなさい。

[No. 1]

日本の農業経営の現状は、農家の経営規模の拡大は進んでいるが、依然として規模の小さい（ア）農家の割合が高い。

なお、（ア）農家とは、経営耕地面積30a未満かつ農産物販売金額が年間50万円未満の農家をいう。

①専業 ②専門的 ③第1種兼業 ④第2種兼業 ⑤自給的 ⑥副業

[No. 2]

環境負荷を軽減し、持続的で安定した農業の生産基盤の構築を実現するため、生産者だけでなく、食品産業の事業者や消費者などの関係者と連携した取組を支援する2022年（令和4年）7月に施行された法律は、（イ）という。

①食品安全基本法 ②六次産業化・地産地消法 ③みどりの食料システム法  
④食品等流通法 ⑤土地改良法 ⑥農地法

[No. 3]

イネの栽培において、かんがいを停止して田面を乾かすことを（ウ）といい、①無効分けつの発生を抑える、②土壌中に酸素を供給して根を健全に保つ、③還元状態で発生する有害物質を抑える、などの効果がある。

①深水管理 ②浅水管理 ③無効かんがい ④中干し ⑤渇水栽培 ⑥秋耕

[No. 4]

シクラメンは、冷涼な気候を好み、生育適温度は、昼間（エ）、夜間12～13℃くらいである。30℃以上では生育が衰え、ほとんど開花しなくなる。

①10℃ ②15℃ ③20℃ ④25℃ ⑤30℃ ⑥35℃

(正答) ア：⑤ イ：③ ウ：④ エ：③

【例題2】以下の（1）から（2）の語句の意味を簡潔に説明しなさい。

（1）農業生産工程管理（GAP）

（2）光合成

【例題3】

近年、地球温暖化の影響によって夏期の気温が上昇している。それにより、農林水産物の品質や収量が低下するなどさまざまな影響が出ている。

具体的な作物や家畜などを1つ選び、高温による農林水産物の品質及び収量の低下の現状とその対策について、200字内で述べなさい。

技術系職種(高卒程度)採用試験 林学職専門試験問題

【例題1】日本の木材自給率の推移等の説明に関する以下の文中の(ア)から(コ)に入る語句又は数値としてふさわしいものを下から選び、その語句又は数値を記入しなさい。

我が国の木材自給率は、平成14(2002)年の(ア)を底に近年は上昇傾向で推移してきました。令和5(2023)年の木材自給率は(イ)まで回復し、直近で最も高い水準となりました。

自給率が上昇してきた背景には、人工林資源の充実のほか、技術革新により間伐材等の小径木から(ウ)の生産が可能になったことなどから、平成14(2002)年頃から国産材利用が急速に進みました。

また、平成24(2012)年に、(エ)制度(再生可能エネルギーの固定価格買取制度)が導入されたことなどにより、木質バイオマス発電施設の整備が各地で進んだことに伴い、(オ)の利用量も年々増加しており、国産材供給量増加の要因となっています。

建築用の製材用材では、(カ)においてスギ集成材など国産材利用が進みつつあるほか、(キ)構造用製材の国産材率が上昇傾向にあります。一方、梁や桁等の(ク)では輸入材が高いシェアを有しており、更なる自給率向上に向けて、スギ(ケ)を効率的に製材する技術の開発や、国産材による高強度の異樹種LVL梁の開発等、国産材率の低い部材への国産材利用に向けた技術開発・普及等を推進しています。

また、今後は人口減少等により長期的に新設住宅着工が減少する可能性を踏まえると、住宅分野以外にも、(コ)建築物等における木材利用を進めることが重要となっています。

合板	単板	CLT	羽目板	寺社	中高層	超高層	木造軸組工法
89.1%	横架材	構造材	燃料材	中径材	大径材	FIP	FIT
梓組壁工法	木質プレハブ工法	ログハウス	18.8%	25.3%	43.0%		

(正答) ア：18.8%      イ：43.0%      ウ：合板      エ：FIT      オ：燃料材  
 カ：木造軸組工法      キ：梓組壁工法      ク：横架材      ケ：大径材      コ：中高層

【例題2】以下の(1)から(2)の語句の意味を簡潔に説明しなさい。

- (1) 標準地法
- (2) 択伐法

【例題3】森林火災の予防対策及び復旧対策について、あわせて200字以内で述べなさい。

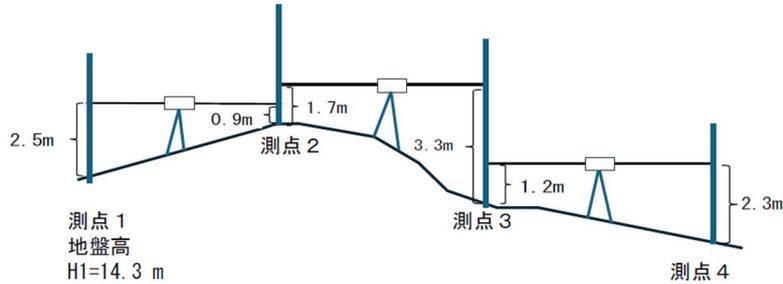
技術系職種(高卒程度)採用試験 総合土木職専門試験問題

【例題1】以下の文中の（ア）から（エ）に当てはまる語句又は数値としてふさわしいものを各設問内に示す□の中から選び、その語句又は数値を記入しなさい。

【測量】

測点1から測点4間の水準測量を行い、図中の結果を得た。

測点4の地盤高は（ア）mである。



12.6 、 12.8 、 13.0 、 13.2 、 13.3

【コンクリート】

コンクリート打設にあたっては、（イ）が25℃を超えることが予想される時は、（ウ）コンクリートとしての施工を行わなければならない、荷卸し時又は打設時のコンクリート温度を（エ）℃以下としなければならない。

日最高気温、日平均気温、日最低気温、正午気温、30、35、40、45、早強、普通、高強度、中庸熱、暑中、熱中

（正答）ア：13.2    イ：日平均気温    ウ：暑中    エ：35

【例題2】以下の（1）から（2）の語句の意味を簡潔に説明しなさい。

- （1）液状化現象
- （2）ハザードマップ

【例題3】近年、健康の増進や利便性などから自転車利用者が増加している。これに伴い、自転車事故も増加しており、安全な自転車走行に資するハード対策が求められている。以下に示す語句を参考として、自転車の安全な走行空間確保対策及び期待される効果を、あわせて200字以内で述べなさい。なお、以下に示す語句全てを用いる必要はない。

カラー舗装、路面標示、ピクトグラム、路肩拡幅、無電柱化、自転車ネットワーク、歩行者・自転車分離、道路空間の再配分（幅員見直し）、縁石

【例題4】農業農村整備における環境配慮の考え方に関する以下の文中の（ア）から（コ）に入る語句としてふさわしいものを下から選び、その語句を記入しなさい。

土地改良法が（ア）に改正され、土地改良事業の実施に際しては、「環境との調和に配慮」することが原則化され、（イ）の向上等の目的を達成しつつ、農村の（ウ）自然や景観等への負荷や影響を回避し、低減することが必要となる。そのため、あらかじめ農村地域の環境保全に関する（エ）を策定し、（オ）や専門家等の意見を踏まえ、環境配慮を行う。

環境配慮への対応手法として、（カ）の五原則の考え方が一般に取り入れられている。対応の検討にあたっては、まずは「（キ）」することを検討し、困難と判断された場合は、影響を「（ク）」することを考え、「（ケ）」、「影響の軽減・除去」の緩和策を検討する。そして、最後の手段として「（コ）」を検討する。

平成13年（2001年）、平成23年（2011年）、令和3年（2021年）、生活環境、農業生産性、生物多様性、原始的、二次的、人為的、マスタープラン、環境アセスメント、ストックマネジメント、地域住民、消費者、歴史的文献、ネイチャーポジティブ、ミティゲーション、SDGs、最小化、最大化、修正、回避、回復、代償、避難、合理化

（正答）ア：平成13年（2001年） イ：農業生産性 ウ：二次的 エ：マスタープラン  
オ：地域住民 カ：ミティゲーション キ：回避 ク：最小化 ケ：修正 コ：代償

【例題5】以下の（1）から（2）の語句の意味を簡潔に説明しなさい。

- （1）パイピング
- （2）損失水頭

【例題6】兵庫県には全国最多の約2万1千箇所の農業用ため池が存在するが、その主な理由及びため池が有する多面的機能を、あわせて200字以内で述べなさい。

技術系職種(高卒程度)採用試験 総合土木職専門試験問題

【例題7】日本の造園様式の変遷に関する以下の文中の（ア）から（コ）に入る語句としてふさわしいものを下から選び、その語句を記入しなさい。

平安時代では、貴族が政治や文化の中心となった。貴族の住居は（ア）住宅と呼ばれ、住宅の南には（ア）庭園が造られた。平安時代の後期では、貴族達は（イ）思想の影響を受け、阿弥陀堂や金堂を建て、池にハスを植える（イ）庭園と呼ばれる庭園を造った。（イ）庭園の例として、（ウ）や（エ）などがある。

鎌倉時代では、武士の台頭と禅宗の隆盛に伴い、庭園も鑑賞や宴遊の場から精神修行の場として取り扱われるようになった。この時代の庭園には（オ）などがある。

室町時代中期の禅宗寺院では、（カ）が造られた。代表的な（カ）である（キ）は、石と砂だけで象徴的な世界が構成されている。

江戸時代では、政治が安定したため、諸大名が江戸屋敷の邸内や自国の城内に、これまでの造園様式の要素を組み合わせた（ク）庭園と呼ばれる広大な庭園を造るようになった。小堀遠州の作といわれる（ケ）などが造られている。また、参勤交代の旅で見た名勝地の風景を取り入れることも行われ、（コ）では琵琶湖が表現されている。

書院造、寝殿造、神仙、末法、浄土、平等院、浄瑠璃寺、西芳寺、南禅院、枯山水、醍醐寺三宝院庭園、龍安寺方丈庭園、名古屋城二の丸庭園、二条城二の丸庭園、縮景式、回遊式、兼六園、後樂園、偕樂園

(正答) ア：2    イ：5    ウ：6    エ：7    オ：9  
      カ：10    キ：12    ク：16    ケ：14    コ：18

【例題8】以下の（1）から（2）の語句の意味を簡潔に説明しなさい。

- (1) 樹木の根回し
- (2) お礼肥

【例題9】樹木の剪定を時期に分けると、春期、夏期、秋期、冬期に分けられ、樹種や目的により適切な時期や回数を選定する必要がある。以下に示す語句を全て使い、夏期における剪定の目的及び花木類における剪定時期の考え方を、あわせて200字以内で述べなさい。

〔 第1次成長、通風・採光、病虫害、台風、倒木、花芽分化期 〕

技術系職種(高卒程度)採用試験 建築職専門試験問題

【例題1】以下の文中の「カ」から「コ」に入る語句又は数値を下から選び、その番号を記入しなさい。

積載荷重の大小関係は、一般的に、「カ」の構造計算用 > 「大梁及び柱の構造計算用」 > 「キ」の計算用である。

積雪の単位荷重は、多雪区域を除き、積雪量1 cm 毎に「ク」N/m<sup>2</sup>以上とする。なお、屋根の積雪荷重は、屋根に雪止めがある場合を除き、その勾配が「ケ」度を超える場合は、零とすることができる。

風圧力の計算に用いる平均風速の高さ方向の分布を表す係数E<sub>r</sub>は、同じ地上高さの場合、一般に、地表面粗度区分がⅢよりⅡのほうが「コ」なる。

1 地震力	2 土台	3 床	4 10	5 20
6 30	7 45	8 60	9 大きく	10 小さく

(正答) カ : 3 キ : 1 ク : 5 ケ : 8 コ : 9

【例題2】以下の(1)から(2)の語句の意味を簡潔に説明しなさい。

- (1) 市街化区域
- (2) 建ぺい率

【例題3】単身高齢者、若者・子育て世帯などのライフステージに応じて変化する居住ニーズに対して、誰もが安心して暮らせる住環境の確保を促進するための空き家利活用対策について、考えられる取組や期待される効果を400字以内で述べなさい。